学校番号	３２７

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	生活科学Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	ニュービジュアル家庭科資料＋成分表 2024　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○家庭総合で学んだ家庭生活に関する内容をさらに深め、社会や環境にも関心を持ちながら取り組みましょう。
・生活の様々な現象や課題を伝統的な知識や文化に学び、ワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。友たちの考えを知り、多様な考えを学び、自分の考えをもちましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けましょう。
・学んだことを生活の課題としてとらえ、よりよい生活をめざしましょう。

2　学習の到達目標

【思考力、判断力、表現力等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的・科学的な理解を図るとともに、それらにかかる技能を体験的・総合的に身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
衣食住を中心とした生活の中から課題を見いだし、よりよく改善していくとともに、考察したことを科学的な根拠に基づいて表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
身近な人々と協働し、課題の解決に主体的に取り組み、振り返りながら改善し、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造し、向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義や社会との関りについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技術を身に付けている。	家族や地域社会及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、課題を解決する力を身に付けている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	衣生活・食生活の充実・向上	・サブバッグ等の製作 ・衣服の選択 ・栄養と食品のかかわり ・調理の基本・基礎技術 ・季節に応じた調理実習	a:日常生活で活用できる製作実習を通して、素材の扱い方や基礎的な縫製技術を身につけ、生活に応用することができる。また、栄養や食品・調理に関する基礎的な知識について理解し、調理実習を通して必要な調理技術を身に付け、食生活に生かすことができる。 b:用途に応じて適切な素材を選び、実生活での管理において適切な判断をし、作品に刺繍を施し自分らしさを表現できる。また、食品の特性と調理について科学的な思考を身に付け、実際の食生活に生かすことができる。 c:自分の衣生活や食生活をとりまく状況について関心を持ち、衣生活や食生活の課題改善について主体的に取り組もうとしている。	定期考査 ワークシート サブバッグ 調理実習	ワークシート 刺繍	授業観察 製作記録 振り返りシート
2学期	食生活の充実・向上	・食事の計画と調理 ・季節に応じた調理実習 ・災害時の調理 ・自由献立	a:栄養・食品・調理・防災に関する基礎的な知識を生かし献立を作成し、調理実習を通して必要な調理技術を身に付け、実際の食生活に生かすことができる。 b:食生活の課題や栄養と食品のかかわり、食品の特性と調理について科学的な思考を身につけ、食品選択や献立作成など実際の食事作りにおいて適切な判断ができる。 c:食文化や自分の食生活についていて関心を持ち、自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努め、調理実習にも積極的に参加し主体的に取り組もうとしている。	調理実習 ワークシート	ワークシート 献立作り 発表	授業観察 調理計画 振り返りシート

3学期	自立に向けて	・経済生活シミュレーション ・部屋探しの基礎知識 ・生活設計	A:将来の自分の自立を考えながら自分の生活の課題を見つけ、生活設計を組み立てることができる。 B 自立に向けて、今まで学んだ知識や技術を確認し、近い将来のキャリアや経済生活、安全で快適な住居の選択などについて考え、生活を設計することができる。 c:家計や予算、住居の選択や、自立に向けての生活設計について関心を持ち、より良い生活の創造にむけて意欲的に取り組んでいる。	ワークシート	ワークシート レポート	授業観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度